

布教教化に関する告諭

今、世界は多くの問題や課題を抱え、私たちは苦しみや悩みの多い社会を生きています。その中で人びとが宗教に求めるものは、心の安らぎと平和な世界です。

曹洞宗は、お釈迦さまと、そのみ教えを日本に伝え弘められた道元禪師、瑩山禪師を一仏兩祖と仰ぎ、歴代のお祖師さまが脈々と伝えられてきた坐禪を中心とした正しい信仰にもとづく生き方を、日々の生活に実現していくことを目指しています。

その生き方とは、あらゆる存在が「縁」によって成り立っていることに心の底から気づき、そこで自ずと生まれる感謝の心を、行いと、言葉と、思いにして、すべての存在に回らし向けていくことに他なりません。

一杯のお茶が出されたならば、それを丁寧にいただく。而今なすべきことは、心を込めてつとめる。毎日が、かけがえのない「縁」と「いのち」の営みであることを自覚し、世界中の人びとが誰一人取り残されることのないよう、ともに願い、祈り、まずは自分自身から正しい信仰の生活を営んでまいりましょう。

合掌

南無釈迦牟尼仏

南無高祖承陽大師道元禪師

南無太祖常濟大師瑩山禪師



令和八（二〇二六）年四月一日

曹洞宗管長 石附周行

曹洞宗は持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています

